

最終報告会

六地蔵における 防災

チーム2 越岡、安井

0. 目次

1. フィードバックが欲しいところ

2. テーマと設定背景

3. ターゲット

4. 課題

5. 解決策

6. 今後の予定

1. フィードバックが欲しいところ

「**防災**」をどうすれば 楽しく伝えられるのか？

このイベントをきっかけに「**地域**」で**防災の気運**を
高めるコツやその事例について
(このままイベントを続ける方がいいのか)

2. テーマと設定背景

六地藏 防災×地域

2. テーマと設定背景

南海トラフが危惧されており、**液状化**の危険性がある六地蔵で安全に避難できるのか不安に思った

令和6年能登半島地震を被災した**経験**から、伝えられる事・共に学べる事の重要性をこの地域でも考えていきたいと思った

令和6年能登半島地震での課題

発災時に適切な避難知識が近隣住民の中で
知らない・浸透していない

一次避難の際に、備蓄物資を分配する
指揮系統や**計画性**の欠如

長期的な避難所生活を強いられる際に
地縁の中での**自治できる能力**

3. ターゲット(N=1)

クラッシィハウス京都六地蔵
(六地蔵に新しく建ったマンション)に住む
落合さん

防災の中でも
子どもの防災に興味がある

4. 課題

避難所の 収容人数不足

六地蔵・木幡の人口: 33,276人

六地蔵・木幡周辺の避難所収容人数: 7,090人



災害時に 混乱 や 揉め事 を引き起こす

4. 課題

災害時の マニュアルがない



臨機応変な対応 が求められる

5. 解決策 災害時の 混乱や揉め事に対して

マンション自体が一次避難所として
役割を担い・災害に対してを準備できる

→まずは、マンション内での **自治能力**を作る必要性

災害時に必要な要素（行動や心構え等）を
考えるワークショップ

×

非常食の試食会 & 簡単なアレンジイベント

5. 解決策

災害時に必要な要素（行動や心構え等）を
考えるワークショップ

×

非常食の試食会 & 簡単なアレンジイベント



災害が起こる前から、段階的な避難所生活での
地縁の中で自治が可能な機能 を作っておく

5. 解決策

住民の方々と交流しながら
非常食のさらにおいしい食べ方を模索する



大学内で学生向けに、食を通じた
避難所の擬似体験イベントを開催



非常食の調理会を **ロールプレイ**で体験

住民の方と開催することで
地縁の交流ができる

5. 解決策

六地蔵で起こり得ることを行政 & 住民で考える オープンミーティング

住民は、居住の地域における
専門的な知識を得れる
また、意見・質問ができる

行政は、市民の声を施策として
反映することができる



6. 今後の予定



もっとラフに
地域を通して
防災を学ぼう！

非常食の試食もできる！！

9/28(土)
10:00~12:00・事前申し込み制

近年、地震等の災害が危険されています。六地蔵・木幡周辺は、避難所の収容人数不足という課題を抱えています。自分を守るために、防災を考えてみませんか？

地域で考えるまちの防災

POINT 1 /
気軽に学ぶ
参加者同士での交流をメインとしているため、気軽に災害時に必要な対策を考えられます！

POINT 2 /
正しい知識を得られる
宇治市の危機管理室の方にも参加していただくので正しい防災の知識を得ることができます！

POINT 3 /
地域が生まれる
防災について考えながら災害時に重要な地域のつながりを得ることができます！

主催 宇治NEXT
(宇治市・宇治商工会議所)

事業名 地域で事業づくりを学ぶ実践プログラム
宇治市未来キャンパス

運営協力 株式会社talki

参加費 無料

お問い合わせ先

お申し込みはこちらから



9/28(土) 10:00-12:00
「地域で考えるまちの防災」
@クラッシィハウス京都六地蔵

6. 今後の予定

検証したいこと

- ・ 楽しく「**防災**」を学ぶことは実現できたか
 - ・ マンションが**一次避難所**として成り立つのか
 - ・ **非常食**のさらに 美味しい食べ方を住民の方で発案できたか

1. フィードバックが欲しいところ

「**防災**」をどうすれば 楽しく伝えられるのか？

このイベントをきっかけに「**地域**」で**防災の気運**を
高めるコツやその事例について
(このままイベントを続ける方がいいのか)

ご清聴ありがとうございました

チーム2 越岡、安井